

平成22年度 第19回 役員会議事要旨

日 時 平成22年12月22日（水） 10時30分～11時05分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，米倉理事，宮崎理事，緒方理事

オブザーバー 川上監事，向井監事 外

◎ 学長から第16回及び第17回の役員会議事要旨確認の依頼があった。

審議事項

(1) 情報戦略本部（仮称）の設置について

学長から，本件は，本学の教育，研究，診療，業務等における情報基盤の整備，情報の収集，管理のあり方等，情報の一元化を目指す体制を整備するもので，既に各会議等で協議しているが，12月17日開催の教育研究評議会において意見のあった委員会規程の文言等を一部修正した旨の説明があった。

その後，総務部長から，改めて，規則（案）の目的及び委員会規程（案）の審議事項並びに組織の各条文等，修正した箇所の説明があり，審議の結果了承された。

(2) その他

特になし。

報告事項

(1) 中期目標期間の教育研究評価に関する評価報告書（案）について

米倉理事から，中期目標期間の教育研究評価に関する評価報告書（案）について，第1期中期目標期間の達成状況に関する評価結果（案）における報告及び学部・研究科等の教育・研究に関する現況分析結果（案）並びに平成22年6月に提出した中期目標の達成状況報告書，現況分析の顕著な変化の説明書に対する評価結果（案）について，平成20年度の暫定評価時に改善要求等が示された事項等に対する今回の判断結果について報告があり，併せて今後の大学の対応に関する会議の予定について説明があった。

(2) 平成22年度就職内定状況について(12月1日現在)

学務部長から、12月1日現在の就職内定状況について、昨年度の同時期と比較した結果、学部で7%減、また10月1日現在から1.3%しか増えていない旨及びその主な要因として、文化教育学部の男子の内定率が著しく低いため、全体の内定率が低くなっている旨の報告があった。

また、文化教育学部の就職内定率が低い原因を調査したところ、昨年と比べ大学院進学希望者が半減したこと及び就職希望者が増加したことなどが主な理由であり、今後も引き続き調査分析していく旨の報告があった。

(3) 海洋エネルギー研究センターへの教員の配置換について

中島理事から、本件は、共同利用・共同研究拠点の人員を増強する趣旨から、工学系研究科教授2名分の仮定定員を不補充とし、その仮定定員を海洋エネルギー研究センターで平成23年度から5年間運用することで、学長、工学系研究科長及び海洋エネルギー研究センター長間で合意されている旨の報告があった。

(4) その他

特になし。

学長から、次回の役員会は、定例開催となると1月12日(水)になるが、「中期目標期間の教育研究評価に関する評価報告書(案)」について協議の必要がある場合は、改めて連絡する旨の発言があった。